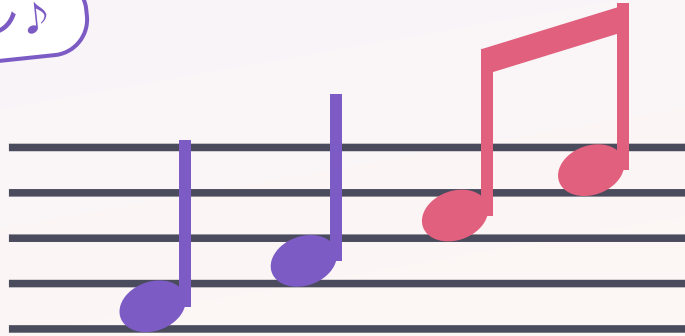


ポロン♪



静けさも音楽なんだ

日本の伝統音楽

静けさと響きが同居する、日本の音



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

伝統音楽の入り口

3～9

伝統芸能を知る

10～19

練習しよう

20～24

ふり返り

25～30

日本の伝統音楽とは

日本には、昔から受けつがれてきた、独自の音楽の世界があります。

日本の伝統音楽とは、**雅楽・能楽・歌舞伎音楽・民謡**など、日本で古くから育まれてきた**音楽**の総称です。

西洋の音楽とはちがう音階やリズムの感じ方、間（ま）の大切さなど、独自の美しさをもっています。今も祭りや舞台、暮らしの中で受けつがれています。



日本の伝統音楽のなかま

雅楽

能楽

歌舞伎音楽

民謡

祭りの音楽

「和楽器」とよばれる、日本独自の楽器も数多く使われます。

ポイント

- 西洋音楽とは、音階やリズム、楽器の音色の感じ方が大きくちがいます。
- 口伝で受けつがれてきたものも多く、今も大切に伝えられています。

やってみよう

1. 日本の伝統音楽で、知っているものを書いてみよう。

書いて覚えよう

日本の音楽の特徴

日本の音楽には、西洋音楽とちがう独自の考え方があります。

西洋音楽

多くはこの考え方

和音を重ねる

ハーモニーを大切にする

拍が一定

メトロノームのように進む

日本の音楽

多くはこの考え方

音色そのものを味わう

1つの音の響きを大切にする

間（ま）を大切にする

音のない時間にも意味がある

ポイント

- 和音を重ねるより、1つの楽器・1つの声の音色を深く味わう傾向があります。
- 音と音の「間」に、豊かな意味がこめられていることがよくあります。

やってみよう

1. 「間を大切にする」という考え方を、どう思いますか。

書いて覚えよう

日本の音階

日本の音楽には、独自の音の並び（音階）があります。

日本の音階（陽旋法）の一例



半音をふくまない、明るい響きの5音の音階です。わらべうたにもよく使われます。

陽旋法（ようせんぼう）

yo scale

半音をふくまない、明るく感じられる日本の5音音階

ポイント

- 西洋の音階とはちがう、独自の5音の並び方が使われることが多くあります。
- 同じ5音の音階でも、選ぶ音によって明るさや切なさの印象が変わります。

やってみよう

1. 上の音階を、「ド・レ・ミ・ソ・ラ」と声に出して歌ってみよう。

書いて覚えよう

間（ま）の感覚

音のない時間にも、深い意味がこめられています。

間（ま）

ma

音と音のあいだの、静けさの時間

ポイント

- 次の音をすぐに出さず、間をとることで、緊張感や余韻が生まれます。
- 能楽や茶道など、日本のさまざまな文化にも「間」の考え方が生きています。
- 「間が良い・悪い」という言い方も、日本語ではよく使われます。

やってみよう

1. 会話や動作の中で、「間」を感じた経験があれば書いてみよう。

書いて覚えよう

日本の伝統音楽には、一定でないリズムの心地よさがあります。

拍の長さがきっちりそろわず、演奏者どうしの呼吸で少しずつ変化していきます。

- メトロノームのような一定の拍ではなく、演奏者の呼吸に合わせて拍がゆれます。
- 能楽のお囃子（はやし）などでは、この「間」のゆれが表現の一部になっています。

1. 自分の呼吸に合わせて、手拍子の間を少しずつ変えてみよう。

書いて覚えよう

日本の伝統音楽では、声そのものが大切な楽器です。

kobushi

民謡などで、声を細かくゆらして装飾する歌い方

ポイント

- 能楽の謡（うたい）のように、独特の発声で語るように歌う伝統もあります。
- 地域によって、歌い方や声の出し方に大きな個性があります。

やってみよう

1. 声を細かくゆらして、好きな音を伸ばしてみよう。

書いて覚えよう

和楽器には、独自の美しい音色があります。

koto

13本の弦を指ではじいて鳴らす楽器

shamisen

ばちで弦をはじいて鳴らす、3本弦の楽器

shakuhachi

竹でできた、息を吹き込んで鳴らす縦笛

taiko

皮を張った胴をたたいて鳴らす打楽器

- 西洋の楽器とちがい、雑音のようなかすれた響きも音色の魅力とされます。
- 楽器ごとに、長い時間をかけて受けつがれてきた奏法があります。

1. 4つの和楽器のうち、聴いてみたいのはどれですか。

宮ていと舞台、それぞれで育まれた伝統芸能です。

宮ていと舞台、それぞれで育まれた伝統芸能です。

gagaku

舞

noh

した舞台芸能

- 雅楽は、笙（しょう）や箏（ひちりき）など独自の楽器で演奏されます。
- 能楽は、謡と笛・太鼓のお囃子が、静けさと緊張感のある舞台をつくりします。

1. 2つのうち、映像で見たいのはどちらですか。

三味線を中心にした、歌舞伎の代表的な音楽

- 舞台の演技に合わせて、その場の雰囲気をつくる音楽（下座音楽）もあります。
- 江戸時代に庶民の娯楽として発展し、今も舞台芸術として受けつがれています。

1. 歌舞伎を見たことがあれば、印象に残ったことを書こう。

11

民謡

その土地の暮らしから生まれた、歌いつがれてきた歌です。

ポイント

- 田植えや漁など、仕事の中から生まれた歌がたくさんあります。
- 地域によって、旋律もことばも歌い方も大きく異なります。
- 祭りやお祝いの場で、今も歌いつがれている民謡があります。

やってみよう

1. 知っている日本の民謡を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

祭りの音楽

太鼓や笛の音が、祭りをにぎやかに彩ります。

祭りでよく聞こえる音

太鼓

笛（ふえ）

かね

かけ声

みこしの音

地域ごとに、太鼓のリズムや笛の旋律に大きな個性があります。

ポイント

- 太鼓のリズムは、みこしをかつぐ動きやかけ声とも深く結びついています。
- 祭りの音楽は、その地域の一体感をつくる大切な役目を果たしています。

やってみよう

1. 近くの祭りで聞こえる音楽があれば、思い出して書いてみよう。

書いて覚えよう

shomyo

仏教のお経に旋律をつけて唱える、古くからの音楽

- 寺院での儀式の中で、僧りょによって唱えられてきました。
- 旋律を伴う唱え方は、その後の日本の声の音楽にも影響をあたえたといわれています。

1. 旋律をつけて言葉を唱えると、どんな効果があると思いますか。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 日本の伝統音楽 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

江戸時代、庶民の間で音楽文化が大きく花開きました。

15

伝統音楽の楽譜

五線譜とはちがう、独自の楽譜の形もあります。

文字譜（もじふ）

notation in characters

箏や三味線などで使われる、文字や記号で音を表す楽譜

ポイント

- 五線譜とはちがい、指の位置や奏法を文字や記号で示すものが多くあります。
- 楽譜だけでなく、師匠から弟子へ直接教わることも、とても大切にされてきました。

やってみよう

1. 楽譜が読めなくても音楽を伝える方法を、ほかに考えてみよう。

書いて覚えよう

多くは、師匠から弟子へ、直接受けつがれてきました。

oral transmission

楽譜だけに頼らず、師匠が弟子に直接教えて伝えること

- 同じ流派（家元）の中で、長い年月をかけて技や心が受けつがれていきます。
- 直接教わることで、楽譜には書ききれない細かい表現も伝わっていきます。

1. 直接教わることの良さを、1つ考えて書こう。

雅楽の音楽が放送で流れることがある

太鼓や笛の音が今も受けつがれている

能楽や歌舞伎が今も上演され続けている

- 1000年以上前の音楽が、形を保ちながら今も演奏され続けています。
- 和楽器の音を取り入れた、新しい音楽もつくられています。

1. 身のまわりで、伝統音楽が聞こえる場面を1つ思い出してみよう。

静けさや間を意識すると、伝統音楽の魅力が見えてきます。

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

間（ま）を意識した手拍子で、伝統音楽の感覚を体験しよう。

- A (1回たたく) タン
- B (少し間をおいてこたえる) タン
- A (長い間のあとに) タン・タン
- B (合わせて) _____
- A (さらに間を変えて) _____
- B (呼吸を合わせて) こたえる

ポイント

- 一定の間かくではなく、相手の呼吸を感じながら間をとる遊びです。
- 急がず、相手の音の余韻を感じてから次の音を出すのがコツです。

ワンポイント 「間」は空白ではなく、次の音への準備の時間だと考えると感じ取りやすくなります。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

聴きなれない響きも、コツをつかめば楽しめます。

つまずき

よくあること

旋律がとらえにくい

西洋音楽と音階がちがう

静かすぎると感じる

間が長く感じられる

コツ

こうしてみよう

音色そのものを味わう

旋律だけを追わない

間を「準備の時間」と考える

静けさも音楽の一部と考える

ポイント

- 「わかりにくい」と感じるのは、聴きなれていないだけのこともよくあります。
- 何度か聴くうちに、静けさの中の心地よさが感じられるようになります。

やってみよう

1. 伝統音楽を聴いて、間（ま）を感じた瞬間を1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

考え方

☐ 間（ま）

音と音のあいだの静けさの時間

☐ 陽旋法

半音をふくまない日本の5音音階

芸能

☐ 雅楽

宮ていに伝わる音楽と舞

☐ 能楽

謡とお囃子からなる舞台芸能

☐ 歌舞伎音楽

長唄など、歌舞伎を彩る音楽

楽器

☐ 箏

13本の弦の楽器

☐ 三味線

3本弦の楽器

☐ 尺八

竹の縦笛

伝え方

☐ 口伝

師匠から弟子へ直接教え伝えること

☐ 文字譜

文字や記号で音を表す楽譜

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、伝統音楽がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|-----------------------|
| 間（ま） | ● | ● ア. 三味線を中心にした歌舞伎の音楽 |
| 雅楽 | ● | ● イ. 師匠から弟子へ直接教え伝えること |
| 長唄 | ● | ● ウ. 音と音のあいだの静けさの時間 |
| 口伝 | ● | ● エ. お経に旋律をつけて唱える音楽 |
| 声明 | ● | ● オ. 宮ていに伝わる音楽と舞 |

2. 日本の伝統芸能の音楽を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 音と音のあいだの静けさの時間 → （間 / 拍）
2. 師匠から弟子へ直接教え伝えること → （口伝 / 文字譜）

書いて覚えよう

伝統音楽を1曲、聴いて1日をスタート

間（ま）を感じながら音に耳をすませる

日本の音階を声に出して歌う

気に入った楽器を1つ書き出す

聴いた音楽の感想をノートに書く

家族に和楽器の音を紹介する

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 祭りや行事の音に耳をすませることも、立派な学びになります。

発表してみよう・感想を書こう

気に入った伝統音楽を、人に伝えてみよう。

音楽・芸能

使われている楽器

好きなところ

間（ま）の感じ方

聴いてほしい人

Ken の例

音楽・芸能 祭りの太鼓／使われている楽器 太鼓と笛／好きなところ かけ声とリズムの一体感／間の感じ方 一瞬止まるところが力強い／聴いてほしい人 祭りが好きな友だち

感想を3文で書こう

① この音楽は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

日本の伝統音楽の世界は、ここからどんどん広がります。

身のまわりで聞こえる和楽器の音をさがす

祭りや行事の音楽に耳をすませる

日本の音階で自由にメロディを歌ってみる

こたえ

L26 間(ま)→ウ 雅楽→オ 長唄→ア □伝→イ 声明→エ 2. 雅楽
／能楽／歌舞伎音楽(例) 3. 間／□伝

L33 (例) 日本の伝統音楽は、独自の音階と間（ま）を大切にしながら受けつがれてきた音楽。

書いて覚えよう

日本の伝統音楽 (Season 7 | No.61)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。